

平成28年度東京オリンピック・パラリンピック関連予算について（川崎市予算案抜粋資料）

戦略6 「みんなの心がつながるまち」をめざす

～東京オリンピック・パラリンピックを契機とした
スポーツ・文化芸術の振興、「心のバリアフリー」の推進など～

東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組 50,000千円

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、大会運営支援をはじめ、大会を契機として本市への愛着を育み、誰もが暮らしやすいまちづくりにつながる「かわさきパラムーブメント」の取組を推進します。

★ 大会に向けた取組の推進

・フラットフォームの運営による「かわさきパラムーブメント」の推進

市民協働で「かわさきパラムーブメント」を推進するため、かわさきパラムーブメント推進フォーラムを運営し、多様な主体の連携によるプロジェクトを実施します。



第1回会議の様子

・ジュニアアスリートの育成支援

川崎育ちのアスリートの発掘・育成に向けて、競技団体等関係団体と連携のもと、ハイレベルな選手の強化を目的とした強化練習会等を開催します。

・小中学校等における障害者スポーツ体験講座の実施

パラアスリートを講師に迎え、パラスポーツを知り、体験する巡回講座を小中学校等で開催します。パラスポーツの魅力を感じるとともに、スポーツを通じた心のバリアフリーの推進を図ります。



・事前キャンプの受け入れやホストタウンの取組の推進

英国オリンピックチーム事前キャンプの受け入れに的確に対応するため、事前調査や関係機関との調整を行います。また、英国を相手国とするホストタウンの取組を進め、東京大会への機運醸成や事前キャンプの受け入れを契機とした交流の絆づくりを進めます。



陸上競技の事前キャンプ地となる予定の等々力陸上競技場

東京オリンピック・パラリンピックに関連するその他の主な取組



これらの取組のほか、さまざまな事業に「かわさきパラムーブメント」の視点を取り入れ、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機としたより良いまちづくりを総合的に推進していきます。

・大規模スポーツ大会を通じたパラリンピック競技の普及

健常者と障害者が同一の大会に出場する取組として国際陸上競技大会にパラリンピック種目を導入し、パラリンピック競技の認知度向上とスポーツを通じた心のバリアフリーを促進します。

・障害者スポーツ推進体制の強化

障害者スポーツの普及・発展のため、市障害者スポーツ協会の運営を支援し、障害者スポーツ普及啓発イベントの開催、パラアスリート向け競技場等の利用調整、広報活動の強化等の推進を図ります。

スポーツ・文化芸術の振興 3,254,734千円

スポーツを通じた市民生活の充実と、スポーツ資源を活用したまちづくりを進めるとともに、多くの市民が文化芸術の楽しさを感じることができるよう文化芸術活動に参加しやすい環境づくりを進めます。

★ スポーツのまちづくりの推進

★ 音楽や映像のまちづくりの推進

★ 等々力硬式野球場の整備



等々力硬式野球場完成イメージ

